

基本調査票

本調査票は、貴事業所の基本的な概要について記載していただくものです。

本調査票の記入日： 令和 5 年 9 月 4 日

| | | | |
|------------------|--|-----|-----------------|
| 設置・運営主体 | さいたま市 | | |
| 設置主体 | | | |
| 経営主体 | (株)日本保育サービス | | |
| 事業所名 (施設名) | アスクむさしうらわ保育園 | 種別 | 保育所 |
| 所在地 | 〒 336-0021 さいたま市南区別所7-1-12 | | |
| 電 話 | 048-872-8107 | | |
| FAX | 048-767-3267 | | |
| Email | musashiurawa_290@nihonhoiku.co.jp | | |
| URL | https://www.nihonhoiku.co.jp/blog/musashiurawa/ | | |
| 施設長氏名 | 山岸優子 | | |
| 調査対応担当者 | 山岸優子 (所属、職名：園長) | | |
| 利用定員 | 77 名 | 開設年 | 昭和 27 年 4 月 1 日 |
| 理念・基本方針 | 未来を生きる力を培う | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・自ら伸びようとする力を支えます ・五感を使って感性を豊かにします ・後伸びする力を育みます | | |
| 開所時間 (通所施設のみ) | 7時から20時 (土) 7時から18時 | | |

【利用者の状況に関する事項】

○保育所の場合（通常保育）

| | 定員 | 利用児童数 | クラス数 | 1クラスあたり 平均児童数 | 1クラスあたり 平均保育士数 |
|-----|----|-------|------|------------------|-------------------|
| 0歳児 | 6 | 6 | 1 | 6 | 2 |
| 1歳児 | 12 | 12 | 1 | 12 | 3 |
| 2歳児 | 15 | 15 | 1 | 15 | 3 |
| 3歳児 | 15 | 15 | 1 | 15 | 1 |
| 4歳児 | 15 | 15 | 1 | 15 | 1 |
| 5歳児 | 15 | 14 | 1 | 15 | 1 |
| 計 | 78 | 77 | 6 | | |

（注）1クラスあたり平均児童数は2クラス以上ある場合に記載。非常勤保育士等については常勤換算で計算。異年齢児クラスはその区分ごとに記載。

【職員の状況に関する事項】

○保育所の場合

| | | | | |
|--------|------------|------------|------------|----|
| 常勤職員数 | 17人 | | | |
| うち | 保育士 | 14人 | 保健師・看護師 | 0人 |
| | 栄養士・調理員 | 3人 | その他（委託調理員） | 人 |
| 非常勤職員数 | 7人（常勤換算 人） | | | |
| うち | 保育士 | 4人（常勤換算 人） | | |
| | 保健師・看護師 | 人（常勤換算 人） | | |
| | 栄養士・調理員 | 2人（常勤換算 人） | | |
| | その他（委託用務員） | 1人（常勤換算 人） | | |

（注）常勤換算計算式 非常勤職員：それぞれの週あたりの勤務延時間数の総数÷当該保育所の常勤職員が勤務すべき時間数。栄養士・調理員：調理業務を委託している場合には「委託」と記載。

| | | | | | |
|----------------|----|-----|----|------|----|
| （2）前年度採用・退職の状況 | 採用 | 常勤： | 1人 | 非常勤： | 0人 |
| | 退職 | 常勤： | 2人 | 非常勤： | 1人 |

（3）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均年齢 30 歳（ 歳）

（4）常勤職員（うち保育士・保健師・看護師）の平均在職年数 5 年（ 年）

（注）現在の保育所での在職年数。ただし、同一の運営主体（法人・自治体）内の児童福祉施設間の異動は通算可（公営の場合には保育主管課在職期間も通算可）。小数点以下第二位を四捨五入。

【本来事業に併設して行っている事業】

(保育所の場合)

| 事業名 | 実施の有無 | 利用料 |
|-----------------------|-------|-----------|
| 乳児保育 | 有 | |
| 延長保育 | 有 | 250円+150円 |
| 休日保育 | 無 | |
| 障害児保育 | 無 | |
| 一時保育 | 無 | |
| 地域子育て支援センター | 無 | |
| 乳幼児健康支援一時預かり事業（病後児保育） | 無 | |
| アレルギー等対応給食 | 有 | |
| その他（事業名： 子育て支援MY保育園 ） | 有 | |

(注) 実施事業には有無欄に○を付し、利用料を記載する。自主事業も含む。

【ボランティア等の受け入れに関する事項】

・令和 4 年度におけるボランティアの受け入れ数（延べ人数）

6 人

・ボランティアの業務

中学生の職業体験

【実習生の受け入れ】

・令和 4 年度における実習生の受け入れ数（実数）

社会福祉士 人

介護福祉士 人

その他 2 人 保育士

【施設の状況に関する事項】

※耐火・耐震構造は新耐震設計基準（昭和56年）に基づいて記入。

○保育所の場合

| | | |
|--------------------|-----------------------|---|
| (1) 建物面積 (保育所分) | 393.66 m ² | |
| | 児童1人あたり | 6.6 m ² (計算式: 建物延べ床面積合計÷定員) |
| (2) 園庭面積 | 228 m ² | |
| | 児童1人あたり | 3.8 m ² (計算式: 園庭面積合計÷定員) |
| (3) 耐火・耐震構造 | 耐火 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ |
| | 耐震 | <input checked="" type="checkbox"/> 1. はい <input type="checkbox"/> 2. いいえ |
| (4) 建築(含大改築)年 | 平成 | 27年 |

【サービス利用者からの意見等の聴取について】

貴施設(事業所)において、提供しているサービスに対する利用者からの意見を聞くためにどのような取り組みをされていますか。具体的にご記入ください。

行事ごとにアンケートの実施をし、職員間で話し合ったことも踏まえ、フィードバックをしている。また、定期的に運営委員会等の会を実施し、直接保護者からの意見や質問を聞く場を提供している。園長が毎年2回(7月、2月)保護者に直接、意見や感想を聞き、職員に周知し、お答えや感謝を報告している。昨年度最後の運営委員会(2月)は保護者からの要望で「学童保育について」を現在小学校に通っている保護者からお話を聞いた。今年度6月に開催した「パパさん会」は色々な年齢の方と交流を持つことができ、園運営に関してたくさんのご意見や感想をいただいた。公の場でも言いにくいことは、年2回実施する個人面談やご意見箱の設置、第三者委員など、現場の職員に言いづらいご意見等も聞き出せるように工夫している。

【その他特記事項】

貴施設（事業所）の特徴的な取り組み等について具体的にご記入ください。

- ①STEAMS保育を取り入れている。子ども達のなぜ？どうして？を話し合い、実験したり、調べたりして「子どもの主体性」を育てる取り組みをしている。
- ②SDGsを保育活動で取り組みをしている。資源の大切さ、人はみな同じ等毎月勉強している。
- ③園舎がさいたま中央郵便局の敷地内にあるので、定期的な交流の機会をもっている。今年度はコロナウイルス感染症の5類移行のため 郵便局見学も再開の予定。
- ④子育て支援としてMY保育園を月2回開催している。（妊婦さんクラス、入園前親子）園庭で一緒に遊んだり、計測、ベビーマッサージ教室、絵本の読み聞かせ、離乳食相談、子育て相談を行っている。また地域交流として、年に3回行事に招待している。今年度は夏祭り、運動会、移動動物園を予定している。
- ⑤毎年中学生の職業体験「ミラクルワーク」を受け入れている。今年度は白幡中学校、南浦和中学校で計12名を受け入れる予定。
- ⑥毎月の避難訓練（Jアラート、水害含む）、不審者訓練、CPR訓練を年間計画で予定しているが園長が職員には告知せず 突然行う時もある。
- ⑦今年度は自治体の「彩の国美緑づくり活動」に申し込み 子ども達と園庭、玄関に花や野菜を植えて押し花、花びらの色水、暑さ対策のゴウヤ等活動している。第二弾として 秋のお花、野菜の活動も行う予定。
- ⑧保護者の交流の場として「パパさん会」「夏祭り」「運動会」など交流を広られる内容を用意している。
- ⑨小学校との交流の場を広げるため、4月からの小学校生活に不安をなくすため5月に学校見学、3月に訪問して教頭先生により授業参観など行う予定。また5歳児担任がさいたま市が開催している「保育者小学校等体験研修」に参加し、子ども達、保護者に色々なお話しをする予定。

【第三者評価の受審状況】

・受審回数（前回の受審時期）

2 回 （平成 30 年度）